



新しい日々へ

さて、これからは新しいクラスとなる。このクラスが楽しかったと思っている人もいるようだが、次のクラスは2年間の付き合いとなるクラスだ。しかも、2～3年という、文武両道の日比谷の中心を担う時間を過ごす仲間でもある。ぜひ、新しいネットワークをどんどん広げて、さらに楽しくかけがえのないクラスを作っていってほしい。

大人の世界には「出羽守」という言葉がある。「ではのかみ」と読むのだが、例えば先生の例でいうと、異動した先の新しい学校で「私がいた前の学校では～～だったのに…」と、いつまでも前任校を懐かしがって、そのやり方から抜け出せずにいることを揶揄して言うことになる。

もう分かったとは思いますが、新しいクラス、新しい担任には、きっとそれぞれの流儀があるに違いない。それなのに、いつまでも13Rの流儀でやっていこうとするのはよくないことだ。新しい流儀を進んで受け入れ、その流儀に自分を開いていく、そして、2年間続いてゆく新しい人間関係を大切にしようとする…そういう姿勢が、今求められていることを意識しよう。(…という内容の通信を、この後、25Rになった人は再び読むことになるだろうなあ…笑)

若い君たちに、過去を懐かしんでいる時間などないはずだ。目の前に大きく広がっている日比谷での2年間の時間、つまり未来を、ぜひ思い出深いものにしてほしい。何度も書いたように、日比谷には、その日々とともに過ごすに値する素晴らしい友人たちがたくさんいるのだから。

では、みんなの新しいクラス！

国語科T田畑先生の替わりに、新しく地歴科(世界史)のN中先生が担任団に加わる。T畑先生は、ちょっと事情があって担任を離れることになったが、授業は引き続き2学年を担当していただくので、先生の丁寧で優しい指導を期待している諸君はご安心を。

さあ、新しいクラスだ。顔を上げ、前を向いて、新しい日々飛び込んでいこう！